

平成 30 年 5 月 小竹図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 5 月 25 日（金） 15 時 30 分から 16 時 10 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（3）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 小竹図書館指定管理者（ハートフルサポート共同事業体）（以下「小」） 小竹図書館長、同館業務従事者、本社スタッフ（3）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光）施設の維持管理について、気になっているところは。</p> <p>→（小）2 階の風通しを良くするために窓を開けたいが網戸がなく、夏になると虫が入ってきてしまう。押し出し窓のため網戸の設置が難しく、窓枠そのものの付け替えになるため見積もりがやや高額になるとのことで、現在検討しているところである。</p> <p>また、昨年末の点検で、空調機が老朽化しているため中のコンデンサーを取り替えるよう指摘をされたので、これから区に協議を出す予定である。</p> <p>（光）サービスの維持向上に向けた取組のところで、ネリサポの職業体験受け入れを 1 か月したが体験者の様子は。</p> <p>→（小）就労による社会復帰を目指す方の受け入れ先として、ネリサポから小竹図書館の名前を挙げていただいた。受入れ期間は短期ではなく 1 か月とのことで、本の修理や研磨等の事務に従事してもらった。理解が早く、人と話すときに若干緊張するようなどころはあるものの、徐々に慣れていった様子だった。</p> <p>（光）2 月の月次報告であがっていた女子トイレ内での喫煙について、その後は。</p> <p>→（小）禁煙ポスターを貼ったところ、今のところ喫煙があった様子はない。2 月は 1 日だけでなく、2・3 日おいて別の日にもトイレ内での喫煙があり、ゴミ箱から紙に包まれた吸い殻が見つかった。女子トイレだけでなく、男子トイレでも同様のことがあった。</p> <p>（光）たばこそのものの臭いの件もあるが、何より火事になる心配があるため注視してほしい。</p> <p>→（小）承知した。</p> <p>②職員体制・会計収支について</p> <p>（光）職員体制は昨年と比べて変化したか。</p> <p>→（小）職員体制については、昨年と変更はない。また、今後も現体制を継続していきたい。</p> <p>（光）今年度の職員研修内容と、とくに力を入れていきたい内容について</p> <p>→（小）毎年度業務に活かしている研修などは継続して行う。今年度は特に、高齢者に関する研修と、子供に関する研修に力を入れたい。</p> <p>高齢者に関する研修については、館長が個人的に参加している超高齢社会と図書館という研究会の内容について職員にも広めたい。図書館として、高齢者の方のために何ができるかを研修の場で職員と共有し、新たな事業や取り組みを企画していきたい。</p>

子供に関する研修については、よみきかせの研修を職員に積極的に受講させたいと考えている。現在でも、よみきかせの際にベテランと経験の少ない職員をペアにするなどして練習させているが、さらなるスキル向上のために外部研修を利用し、職員のレベルの底上げと均一化を目指したい。

(光) 今年度の運営方針は。

→ (小) 今年度も地域と連携する姿勢を継続し、地域の施設・団体と様々な事業に取り組み、連携を強めたいと考えている。つながりのある団体も多くなってきたが、まだお話をしていない施設や団体もある。今後も積極的につながりを持ち、新たな事業に取り組んでいきたい。

(光) 昨今では、中高生の読書離れも深刻化している。中高生の読書推進についても念頭に置いていただきたい。

→ (小) 承知した。今後具体的な方策について話をしていきたい。

③事業計画について

(光) 武蔵大学とのミツバチ・プロジェクトや日大芸術学部落語研究会との寄席のように、武蔵野音楽大学ともなにか協働で行えることはないか。

→ (小) 武蔵野音楽大学にある楽器博物館を見学する事業を考えている。武蔵野音楽大学の担当者とも連絡をとっており、時期を調整しているところである。

(光) 6月に予定されている、「小竹寄席～桜台落語ネットワーク編」について

→ (小) 11月に予定されている日大落研とは別に、今年初めてお声をかけていただいた団体をお招きすることになっている。日大落研は子供の部と大人の部で分けて行っていたが、こちらは子供が聞いても大人が聞いても理解できるような演目でお話していただけることになっている。

④ 児童サービス事業について

(光) 「ぴよんぴよんうさぎ砲」について、参加者の反応は。

→ (小) 工作会の講師は外部講師ではなく、図書館のスタッフが行っている。毎回子供達の反応は良く、常連のような子供もいる。今回の工作会は、動きのあるおもちゃを作ろうということで考え、材料は牛乳パックと紙コップだけで作り、工作費もほぼかからない内容だった。参加した子供達はみんなリラックスした様子で、知らない子同士でも机を合わせたり、大きな子が小さい子の面倒を見たりという場面も見られた。

(光) 学校支援について、今年度の支援方針は

→ (小) 本の探検ラリーの目標値達成に向けて動いている。現在、小学校3校、中学校2校、計5校の実施が決まっており、中学校2校は今年初めての取り組みになる。また、毎年実施している小学校が他に1校あり、見込みで6校が実施予定である。

(光) 学校図書館システムの導入にあたり蔵書登録を行うため、7月21日以降の1～2週間、中学校の学校図書館を閉鎖することとなる。6月の初めには各学校に通知文を送る予定である。

→ (小) 承知した。